

遠野物語の世界 ～村落の伝承をめぐる～



三浦佑之氏撮影「遠野物語イメージ」

「今から100年余り前、東北の山深い村に語り伝えられていたさまざまな伝承がまとめられ、わずか350部が出版されました。それが後に、日本民俗学の始まりを告げる書として、また魅力的な文学世界にみちた書として称えられるようになり、今に至る、柳田国男の『遠野物語』です。

遠野は岩手県内陸部にあり、山に囲まれた民間伝承の宝庫でした。里の神、家の神、山の神、天狗、河童などの伝説や怪異譚などの豊かな伝承世界。今回は、そんな『遠野物語』の世界を、古事記・風土記と共に研究を続けている三浦佑之先生に、その魅力と共に、人から人に語り伝えられていく伝承文学の面白さについてお話していただきます。

講師

三浦 佑之（立正大学文学部教授）

1946年三重県生まれ。古代文学・伝承文学専攻。千葉大学名誉教授。第5回上代文学会賞、第1回角川財団学芸賞、第1回古代歴史文化みやざき賞、受賞。著書に『村落伝承論 『遠野物語』から 増補新版』（青土社）『遠野物語へようこそ』（赤坂憲雄と共著、ちくまプリマー新書）『古事記を読みなおす』（ちくま新書）『風土記の世界』（岩波新書）など。



開催概要

- 日時：2016年11月16日（水）19:00～21:00（18:30 開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1,000円
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて
①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。